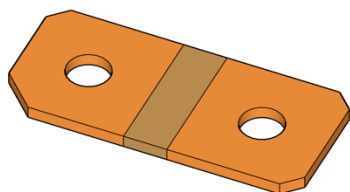


SBL 3515 シリーズ

低抵抗電子ビーム溶接精密抵抗器



特徴

- 定格電力、3ワット
- 銅端子の優れた導電性
- 優れた長期安定性
- 高い使用温度範囲 $-55^{\circ}\text{C} \sim +170^{\circ}\text{C}$
- はんだ温度、最大 $350^{\circ}\text{C} / 30\text{Sec}$
- 不燃性
- 金属板抵抗器
- RoHS、REACH認証
- AEC-Q200 認証

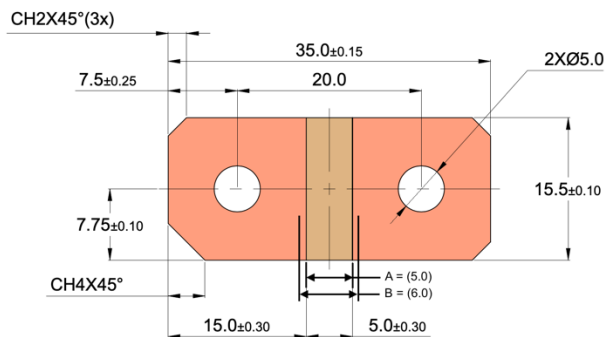


アプリケーション

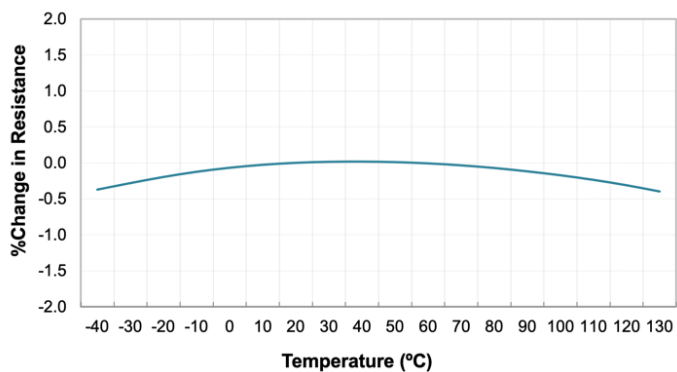
- 電流検出 / フィードバック
- 車載
- 電源モジュール
- 周波数変換器
- インバータ
- 低インダクタンス用途向け



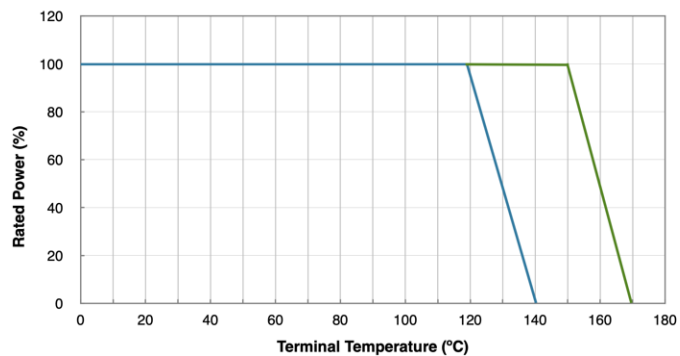
技術データ		
抵抗値	0.1	(mΩ)
抵抗値公差	5	(%)
TCR - 抵抗温度係数 (抵抗合金)	$< \pm 20$ (Copper Manganese Alloys)	(ppm/K)
TCR - 抵抗温度係数 (部品)	$< \pm 75$ (at A) and $< \pm 150$ (at B)	(ppm/K)
使用温度範囲	$-65 \sim +170$	$^{\circ}\text{C}$
定格電力 (P _{70°C})	7	W
定格電力 (P _{120°C})	5	W
インダクタンス	< 5	nH
熱起電力	< 1	$\mu\text{V}/^{\circ}\text{C}$
内部耐熱性	< 4	$^{\circ}\text{C}/\text{W}$
耐久性	< 0.5 (2000時間後), $T_r^* = 120^{\circ}\text{C}$	%
* T_r = 端子温度	< 1.0 (2000時間後), $T_r^* = 150^{\circ}\text{C}$	%



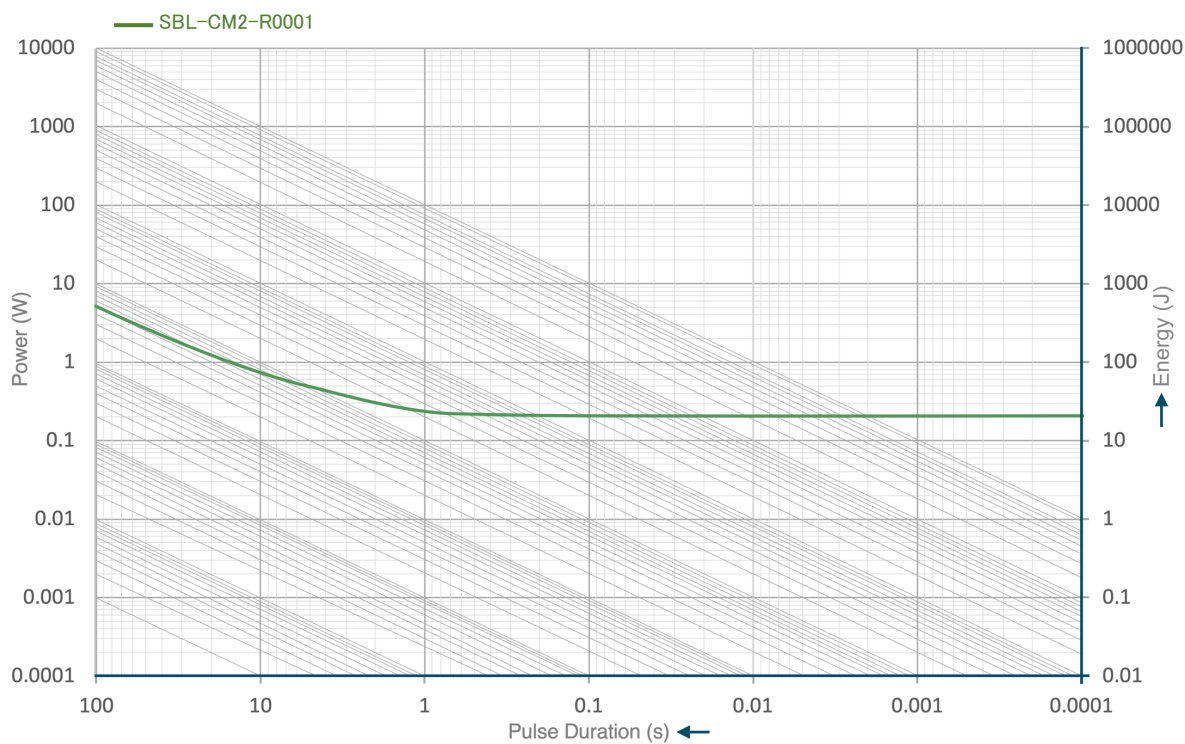
対温度抵抗値変化率



電力軽減曲線



最大パルスエネルギー曲線



連続運転の電力曲線

特性:

試験項目	参照基準	試験条件	合格基準
高温放置	MIL-STD-202 Method 108	170°C環境で1000 時間、通電なし	ΔR +/-1%
温度サイクル	JESD22 Method JA-104	-55°C~150°C, 1000サイクル, 各30分	ΔR +/-0.5%
高温高湿バイアス試験	MIL-STD-202 Method 103	85°C & 湿度85%, 動作電力10%, 1000時間	ΔR +/-0.5%
高温寿命試験	MIL-STD-202 Method 108	定格電力下で125°C, 1000時間	ΔR +/-1%
外観	MIL-STD-883 Method 2009	目視検査	目視で異常なし
寸法	JESD22 Method JB-100	図面の寸法に従う	図面の公差内
溶剤耐性試験	MIL-STD-202 Method 215	水性化学物質で洗浄	レーザー刻印に影響ないこと
衝撃試験	MIL-STD-202 Method 213	100gを6ミリ秒間, 正弦半波パルス	ΔR +/-0.2%
振動試験	MIL-STD-202 Method 204	5gを20分, 3方向から12サイクル, 10-200	ΔR +/-0.2%
はんだ耐熱性試験	MIL-STD-202 Method 210	はんだ温度260°C, 10秒	ΔR +/-0.5%
はんだ濡れ性試験	J-STD-0	J-STD-002 に従う	10倍の倍率で95%以上のカバレッジ
電气的特性試験	ユーザー仕様	定義された抵抗値	仕様の公差内
短時間過電流負荷試験	--	定格電流の5倍を5秒	ΔR +/-1%
低温貯蔵試験	--	-65°C, 24時間	ΔR +/-0.2%

梱包:

- ナイロンバックに100個詰め、標準
- トレイ梱包、要求ベース
- チューブ梱包、要求ベース

発注コード例

